

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に

基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 東濃実業高等学校 学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和8年6月23日（火） 13:15～15:15
- 3 開催場所 東濃実業高等学校
- 4 委員
会長 村田 直城 パティスリーランド 代表
副会長 細野 淳子 御嵩町薬師祭礼協力会 （書面参加）
小椋 優作 中部学院大学短期大学部幼児教育学科 准教授
木下健太郎 J Aめぐみの伏見 支店長 （書面参加）
長谷川恵美 東濃実業高等学校 育友会役員
堀部 佳彦 東濃実業高等学校 同窓会長 （書面参加）
森川 利子 伏見保育園 園長
山本 正憲 洞興寺 住職 （書面参加）

(学 校 側) 中澤 正仁 校長
山下由香理 教頭
長尾真由里 教頭
大矢 文哉 事務長
水野 直樹 教務主任
森 俊樹 生徒指導主事
鍵谷ひとみ 進路指導主事
高田 昌史 商業科主任
山田 陽子 生活産業科主任

5 会議の概要（協議事項）

（1）会長及び副会長選出

会 長：村田 直城 委員 副会長：細野 淳子 委員

（2）教育目標・スクールミッション・スクールポリシーについて

今年度の本校の教育目標・スクールミッション・スクールポリシーについて確認した。

（3）教育指導の重点及び学校経営計画等について

今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認を得た。

(4) 各分掌等の方針と重点について

学校経営計画を踏まえた各分掌の方針と重点について承認を得た。

(5) 意見・感想

＜学校経営について＞

意見1：専門的な学習が個々にできる環境が整っている。生徒の作品にも個性が反映されており、生徒の良さを教員が大切にしていることが伺える。

意見2：SNSでの情報発信は重要である一方、発信の頻度を上げるのは担当者の負担が大きい。学校の認知度向上と職員の業務量軽減（働き方改革推進）の両立が課題である。

意見3：最近はSNSでも動画での発信が増えている。生徒の活動について、完成品の写真だけでなく、製作過程（手の動きなど）を動画で発信することで、専門高校ならではの学びの魅力をより伝えられるのではないかな。

意見4：「あずさカード」（生徒の自主的な取組に対して発行されるカード）の取り組みは、生徒が「ありがとう」を受け取れる良い制度であり、継続してほしい。年間の発行枚数はどれほどか。

⇒ 昨年度は約30枚だったが、今年度はすでに20枚発行済みの教員もいる。

意見5：校則の改編に生徒の意見を取り入れている点は良い。今年度のポロシャツ導入についても単に規則を緩めるのではなく、生徒の意見を踏まえた見直しが行われている。

意見6：メンタル面で不調の生徒が落ち着ける「ほっとプレイス」が整備されており、支援体制が整っている。

意見7：専門高校では、積み上げた専門性が将来の夢や職業につながる点が大きな強みである。人材不足の業種もある中、地元事業所でのインターンシップ等を通じて職業の魅力を実感し、地域で活躍する良い人材が育っていくことを期待したい。

＜その他＞

意見1：来校時に生徒が当たり前のように挨拶する姿が素晴らしかった。挨拶を大切にできることは、将来的にも人間関係づくりや社会性の基盤となると考える。

意見2：高校生は家庭で学校の様子をあまり話さないため、参観を通して学校生活を知る良い機会となった。三者懇談も保護者が担任と話ができる良い機会である。

意見3：生徒は授業で事業所を訪問した際、職員に熱心に質問するなど意欲的に学んでいた。今後も聞きたいことがあれば、授業以外でも事業所に立ち寄って欲しい。

6 会議のまとめ

- ・令和8年度の学校の運営基本方針について承認が得られた。
- ・継続的な取り組みが着実に成果として表れており、委員からも高い評価を得た。今後も、委員から寄せられた意見や提案を参考にしながら、これまで培ってきた歴史や伝統を大切にするとともに、時代の変化や社会のニーズに応じた学校運営を進めていきたい。